

雪まるかじりツアー

～とことん！！雪遊びコース～

2026年1月4日（日） ～ 1月6日（火）

IN 兵庫県立宍野高原教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	雪レクリエーション	設計図づくり
2日目	かまくらづくり	かまくらづくり	室内レクリエーション
3日目	ソリ滑り	施設を出発・解散	

一日目： 新年を迎えて最初の活動となる本キャンプ。スキーキャンプも含めて、約70名の参加者が尼崎駅に集まりました。「あけましておめでとうございます！」と元気よく挨拶をしてから、グループに分かれてバスに乗り込みます。今回は1グループあたりの人数が多く、施設へ向かう道中に時間をかけて自己紹介を行いました。また、グループ対抗のレクリエーションも行い、各グループが仲を深めるきっかけとなりました。雪不足が心配されていましたが、施設に到着してバスを降りると、年末にかけてたつぷりと降り積もった雪がみんなを出迎えてくれました。昼食を食べてから雪遊びの服装に着替え、みんなで外へ繰り出しました。みんなふかふかの雪に早く触れたい様子で、活動拠点となる広場へ向かいました。この日は、グループ対抗のレクリエーションをメインに行いました。【大玉作り対決】や【雪山作り対決】などを行い、遊びを通してグループで力を合わせることを学んでいただきました。特に、【雪山作り対決】は、翌日のかまくら作りの土台として繋がっていくため、メンバーもリーダーもより一層気合を入れて取り組んでおられました。日没が迫ってきたため、まだまだ遊びたい気持ちに後ろ髪をひかれながら室内へと戻ります。ここからは気持ちを切り替えて施設の方からオリエンテーションを受け、施設での過ごし方を確認しました。その後、部屋に戻って着替えやシーツ敷き、お風呂の準備といった身辺整理を行いました。夕食は、食堂でいただきます。中学年・高学年のメンバーには、中心となって配膳を行っていただきました。食事を終えた後は、そのまま食堂の机をお借りして、明日のかまくら作りに向けた【作戦会議】を行いました。グループで一つの机を囲み、みんなでアイテアを出し合いながら設計図を描きました。設計図を完成させたら、あとは入浴を済ませて寝るだけです。どの部屋でも、消灯ギリギリまでメンバー同士の会話が弾んでいた様子で、この一日だけでも仲が深まったことが伺えました。

二日目： 起床の時間になり、各部屋から「おはよう！」と声が聞こえてきます。朝が苦手な様子のメンバーも見受けられましたが、リーダーが見守る中、身支度は自分自身で行っていただきました。続いてグループ揃って食堂へ向かい、朝食をいただきます。一日のエネルギーとなるので、しっかり食べて次のプログラムの準備へと移ります。



道具を持って集合し、早速【かまくら作り】に取り掛かりました。午前にはひたすら基礎となる雪を高く積んでいきます。昨日雪を積んでおいたおかげか、想像よりも早く十分な雪山が完成していきました。お昼になり、施設に戻って昼食をいただいた後、一度大きな休憩を挟んで、午後の制作を開始する時間はグループごとに委ねました。しっかりと体を休め、気持ちをリセットしてから、かまくら作り再開です。午後からは、入口となる部分の穴開けや飾り付けといった工程も加わり、より細かく分担して作業を進める様子が見られました。終盤は若干吹雪く時間帯もありましたが、最後まで一丸となってかまくらを無事完成させました。屋内に戻ってから、この日はすぐに入浴し、冷えた身体を温めました。その後、食堂で夕食をいただき、昨日以上におかわりをされるメンバーの姿が多く伺えました。夜のプログラムは雨が降ったため予定を変更し、体育館でレクリエーションを行いました。様々なレクを通して楽しく身体を動かし、笑顔の絶えない時間となりました。この日は沢山動いたため、就寝準備を済ませるとすぐに布団に入られる方がほとんどで、ぐっすりとお寝られました。



三日目： 最終日の朝は、昨日の疲れからか、起床の声が掛かるまで眠っておられた方が多かったです。起床後は、退所に向けて荷物をまとめるなど慌ただしく動きます。朝食後は、部屋の掃除を行いました。布団を畳む場面では、中・高学年のメンバーが低学年のメンバーを手助けし、優しく教える姿があり、グループで協力し合う意識が深まっていることを感じました。施設の清掃が一段落したら、最後の雪遊びへ向かいます。昨日つくったかまくらで記念撮影をし、しばし遊んだ後、最後は全員で【ソリ滑り】を行いました。雪質の影響で真っ直ぐ進まなかったり、テコボコしたりするコースもあり、スリル満点で、みんな歓声を上げながら楽しんでおられました。遊びを終え、食堂で最後の昼食をいただいた後、退所の準備を行い、バスに乗り込んで施設を後にしました。帰りのバス車内では、DVD観賞で盛り上がり、最後の最後まで楽しみ尽くしたキャンプとなりました。尼崎駅に到着し、「まったねえ〜！」と手を振り合って、各々帰路に就きました。



<キャンプ総括>

この度は、ご参加いただき誠にありがとうございました。今年は、参加者の年齢層にばらつきが少なく、全体的に低学年が多いキャンプとなりました。その為、各グループが打ち解ける時間も早く、いつも和気あいあいと過ごされていた印象です。また、高学年の参加者が大変少なかったことにより、中学年の参加者が最年長となるグループがいくつかありました。これまでのキャンプで高学年のお兄さん、お姉さんにまだまだ頼ることが多かった方も、今回は頼られる立場、グループを引っ張っていく立場になる経験をされたと思います。それが良い刺激となって、より自立的な一歩を踏み出すきっかけとなり、また次のキャンプでその経験を活かすことに繋がって欲しいと願っております。また、来年も冬の兔野高原で皆様とお会い出来ることを心待ちにしております。 (生田 千恵)